



# ドクター板東の メディカルリサーチ

Vol. 100

～五重の塔 技が伝わり 晴るかすに～

<http://pianomed-mr.jp/>

**世界最古・五重の塔**

歴史を振り返ってみると、日本はいろいろな意味で世界の中で傑出した素晴らしい国といえよう。飛鳥時代

私は高い塔から下を見たり、透明の床から真下を見たりするのが大好き。世界最大のバンジージャンプがアフリカ南部のジンバブエにあり、111mの高さから空中に跳んだこともある。その瞬間、お腹がすーとなり怖い気持ちになるのは確かだ。

しかし、なぜ身体がこんなに反応して脳が感じるのか、メカニズムをリサーチできないか、と冷静に観察してきた。今回は、超高層ビルや高い塔の建築物などの話題などについて触れてみたい。



図3

さて、聖徳太子に関する史実をはじめ、最近は今までに常識とされてきた日本史が大きく変わりつつある。

さて、聖徳太子に関する史実をはじめ、最近は今までに常識とされてきた日本

実は、聖徳太子は世界初の学者であるのをご存じだろか？ 仏教学者で、皇室出身の立場から神道も尊重する必要があった。そこで、2つの宗教を上手に融合させ、世界で初めての考え方を示すことに。そして、「十七条憲法」を定め

先日、日本一の超高層ビル・あべのハルカス（300m）が完成した（図1）。日本最大の売り場面積の百貨店を内部に含む大規模なものである。その名称は、平安時代の古語「晴るかす」に由来するという。

私は高い塔から下を見たり、透明の床から真下を見たりするのが大好き。世界最大のバンジージャンプがアフリカ南部のジンバブエにあり、111mの高さから空中に跳んだことも

ある。その瞬間、お腹がすーとなり怖い気持ちになるのは確かだ。

しかし、なぜ身体がこんなに反応して脳が感じるのか、メカニズムをリサーチできないか、と冷静に観察してきた。今回は、超高層ビルや高い塔の建築物などの話題などについて触れてみたい。



図1

た（表1）。

聖徳太子が建立したと伝わる法隆寺の五重塔（32m、680年頃）が知られる（図3）。実は世界最古の木造建築物で、世界遺産にも指定されているのをご存じだろうか。

五重の塔について深い意味がある。五個の屋根は地（基礎）、水（塔身）、火（笠）、風（請花）、空（宝珠）からなる五大思想や仏教的宇宙觀を表す。1300年以上地震にも耐えて長年健在なのは、驚嘆すべき事実だ。その理由として、宙づりの心柱の存在や柔構造によるものが判断され、コンピュータ解析でも詳細は不明という。



図2

表1 十七条憲法の原文と読み下し文（第1条のみ）

夏四月丙寅朔戊辰、  
皇太子親肇作憲法十七條。  
一日、以和爲貴、  
無忤爲宗。  
人皆有黨。亦少達者。  
以是、或不順君父。  
乍違于隣里。  
然上和下睦、  
諧於論事、  
則事理自通。何事不成。

夏四月丙寅朔の戊辰の日に、  
皇太子、親（みづか）ら肇（はじ）めて憲法十七條を作る。  
一に曰く、和（やわらぎ）を以て貴しと為し、  
忤（さか）ふること無きを宗とせよ。  
人皆党（たむら）有り、また達（さと）れる者は少なし。  
或いは君父（くんぶ）に順（したがわ）ず、  
乍（また）隣里（りんり）に違う。  
然れども、上（かみ）和（やわら）ぎ下（しも）睦（むつ）びて、  
事を論（あげつら）うに諧（かな）うときは、  
すなわち事理おのずから通ず。何事か成らざらん。

しかし、少なくとも、飛鳥時代に培われた基盤によって、日本の歴史と文化が発展してきたことは間違いない。

表1

具体的に、心理面・精神

面では、日常的な生活規範として「和を以て貴し」が重要だ。文化面では、「優れた技術はどんどん大陸から取り入れていく」という方向性が示されている。

十七条憲法の最初には「太子が肇めて作った」との記載が。自ら筆をとつて書き始めたという意味が含まれている。

## 東京スカイツリー

日本人には7世紀から技術を求めるスピリットが存続し、磨き続けて技術立国となつた。そして、法隆寺の真髓が、戦後日本の復興のシンボルとして、東京タワー(333m)に託された(図4)。映画「ALWAYS三丁目の夕日」を観ると、当時の人々が東京タワーに寄せた期待や将来の日本の



図5

歴史を振り返ると、高い塔から高層建築へと発展してきることがわかる。

塔については、上述した五重塔→東京タワー→東京スカイツリーと発展し、各時代で人々の夢を育んでき

## 高層建築物へ

日本には7世紀から技術を求めるスピリットが存続し、磨き続けて技術立国となつた。そして、法隆寺の真髓が、戦後日本の復興のシンボルとして、東京タワー(333m)に託された(図4)。映画「ALWAYS三丁目の夕日」を観ると、当時の人々が東京タワーに寄せた期待や将来の日本の



図6

建物も歴史を語る

先日東京スカイツリーに昇る機会を得た。誰もが先端技術に驚くだろうが、私

は眺望できる東京タワーやは富士山の向こうに、古の五重塔や日本人のスピリットが見えるような気がした。

聖徳太子が現代の日本を見たら、精神性と技術発展についてどう思うだろうか?

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)

た存在であった。

高層建築物の発展について表2に示す。1888年

年に通称「ミナミの五階」

が完成し、その後次第に高層化が進んでいくことに。

1993年から「横浜ラン

ドマークタワー」が長年ト

ップを保っていた(図6)。

ここは従来医学会の全国大

会がたびたび開催されてい

る。

2014年、あべのハルカスが開業し、20年ぶりにトップの座が大阪に戻った。最上階の展望台からは近隣に並ぶ高層ビルと、その周辺には庶民の街の風景が広がっている。

ビルの中には、百貨店の

①羽田空港と成田空港をつなぐ路線上で、駅に直結したアクセスは最良

②隣接する水族館では各種

クラゲやペンギンへの餌付けなどが魅力的

③ショッピングセンターや

プラネタリウムなどの文化

施設も充実

日本には7世紀から技術を求めるスピリットが存続し、磨き続けて技術立国となつた。そして、法隆寺の真髓が、戦後日本の復興のシンボルとして、東京タワー(333m)に託された(図4)。映画「ALWAYS三丁目の夕日」を観ると、当時の人々が東京タワーに寄せた期待や将来の日本の

表2 我が国における高層建築物の歴史と特徴

名 称	高さ	階	年	特 徵
五層楼眺望閣	31	5	1888	通称「ミナミの5階」、大阪府浪速区
九層楼凌雲閣	39	9	1889	通称「キタの9階」、大阪府北区
浅草凌雲閣	50	12	1890	エレベーター日本初、関東大震災で倒壊
日本橋三越本店・新館	51	5	1914	スプリンクラー等の設備、品質が高評価
国会議事堂・中央塔	65		1936	「白亜の殿堂」と呼ばれ知られる
あべのハルカス	300	60	2014	東京五輪で開業、日本初の高層ビル 超高層ビルの先駆け的存在 再開発で2019年から解体→200mへ 最上階の展望室に100万人/7ヶ月 愛称は「三角ビル」で特徴的 西新宿に密集する超高層ビル群 当時世界最速エレベーター、分速600m 豪華な特徴、周辺施設が増収 「横浜みなとみらい21」有名に 経済効果4500億円、府予算の15%

表2